

福祉サービス第三者評価結果

①第三者評価機関名

株式会社日本教育公社

②事業者情報

名称：	第二所沢おひさま保育園	種別：	保育所
代表者氏名：	園長 津留崎 正恵	定員(利用人数)：	100 名
所在地：	〒 359-0037 埼玉県所沢市くすのき台2-2-6	TEL	04(2000)5000

③評価実施期間

令和 3 年 11 月 22 日 (契約日) ~ 令和 4 年 3 月 18 日 (評価結果確定日)

④総評

◇特に評価の高い点

子ども一人ひとりの気持ちに寄り添うため、全てのクラスにおいて基準を上回る職員配置を行っている。一人ひとりの職員が子どもの状態を把握すると共に、「クラス会議」を通じて子どもに関する情報共有を図っている。園長は、職員に対して子どもの性格や個性を尊重した保育を実践するための助言や指導を行っている。利用者調査では、「子ども一人ひとりをきちんと見守っている」「一人ひとりのペースを尊重し、子どもに合わせて対応してくれている」「クラスを越えて色々な先生が子どもの顔と名前を覚えてくれており、園全体で子どもを見守ってくれている」等の回答を得ている。また、利用者調査では、「航空公園や3つの公園に連れて行ってもらえるのでありがたい」「戸外遊びを多く取り入れている」「散歩が多いため子どもの体力が良かった」「とにかく、良く外に連れて行ってくれる」「給食が美味しく、子どもが沢山食べるようになった」「箸やスプーンの持ち方を教えてくれる」「食の大切さを教えてくれる」「給食が美味しく、メニューは行事等で工夫してくれている」等、戸外遊びや食事(給食やおやつ)、食育に対する評価が高かった。

◇特にコメントを要する点

コロナ禍において、行事の実施や地域交流の取り組み等、制約を受けることが増えている。保護者の参加を制限して夏祭りを実施したり、クラスごとに規模を縮小して運動会を実施する等、工夫した行事の実施を行っているが、利用者調査において「行事に参加したい」「仕事が休みの日に行事を実施して欲しい」「芋ほりを復活して欲しい」等の意見があった。地域交流については、殆どが休止せざるを得ない状況が続いているため、感染拡大の状況が収束次第再開することに期待したい。また、地域交流を促進する上で、地域住民との良好な関係づくりも不可欠になるが、「保護者同士で、大きな声で長時間話をしている」(年間4~5回)、「車両が、保護者のものと思われる車両に傷つけられた」「駐車禁止の場所に保護者の車両が止まっている」(年4~5回)等、近隣からの苦情がある。地域交流を促進する上で、ルール順守(保護者の駐車場がないことは周知している)や、地域住民に対するモラルについて保護者の意識向上を図る取り組みにも期待したい。

⑤第三者評価結果に対する事業者のコメント

コロナ禍の中今まで当たり前に出ていたことが出来ず、感染防止が最優先された1年でした。そんな中でも子ども達の発達に必要な経験を保障しながら、試行錯誤しながら保育を進めてきました。行事については、感染状況を踏まえ行実施の時期や保護者の方の参加の仕方を模索しながら行ってきました。今できる範囲で行いましたが、説明が十分ではなかったと感じました。今後は保護者の思いに寄り添いながらも、園としての考えを理解して頂くための説明を丁寧に行っていきたいと思っております。また日常に戻った時には子ども達がいきいきと生活できる保育園、そして保護者の方にも安心していただける園を目指し努力をしていきたいと思っております。

⑥各評価項目にかかる第三者評価結果

別紙「評価細目の第三者評価結果」のとおり